

第31回定期演奏会

Tokyo Sinfonietta the 31st Subscription Concert

東京シンフォニエッタ **TS**

2012/7/6 (金) 開演 19:00

19:00 Friday, 6th July 2012

サントリーホール ブルーローズ
Suntory Hall Blue Rose

ラジオ・フランス ウィーク-エンド パリー日本より From "Week-end Paris-Japon" by Radio France

指揮：板倉康明
Conductor: Yasuaki Itakura

ソプラノ：松井亜希
Soprano: Aki Matsui

ハープ：木村茉莉
Harp: Mari Kimura

ヴィオラ：百武由紀
Viola: Yuki Hyakutake

フルート：斎藤和志
Flute: Kazushi Saito

クラリネット：西澤春代
Clarinet: Haruyo Nishizawa

演奏：東京シンフォニエッタ
Ensemble: Tokyo Sinfonietta

ワーグナー：ジークフリート牧歌 (1870)
W. R. Wagner: Siegfried-Idyll

ジャン＝ルイ・アゴベ：クラリネットと9人の奏者のための"コンチェルティーノ"
(2012、東京シンフォニエッタ & ラジオ・フランス共同委嘱、日本初演)
Jean-Louis Agobet: Clarinet Concertino
(2012, Japanese premiere, commissioned by Radio France & Tokyo Sinfonietta)

ドビュッシー：ソナタ フルート、ヴィオラ、ハープのための (1915)
C. A. Debussy: Sonate pour flûte, alto et harpe

バンジャマン・アタイル："暗潮" ソプラノとアンサンブルのための
(2012、ラジオ・フランス委嘱作品 日本初演)
Benjamin Attahir: Ancho pour Soprano et ensemble
(2012, Japanese premiere, commissioned by Radio France)

入場料：一般 4,000 円 / 学生 3,000 円 (全席自由)

主催：東京シンフォニエッタ

助成：芸術文化振興基金 / 公益財団法人 花王芸術・科学財団

ラジオ・フランス ウィーク・エンド パリー日本より
From "Week-end Paris-Japan" by Radio France2012年7月6日(金) 開演 19:00 / サントリーホール ブルーローズ
19:00 Friday, 6th July 2012 Suntory Hall Blue Rose

指揮：板倉康明

Yasuaki Itakura 1960-



©Eric Manas

東京藝術大学を経て仏政府給費留学生として渡仏。パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。クラリネットソリストとしてキャリアを積み、これまでに東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。また国内外で、日本の作品について、演奏、講義を行っている。1996年西村朗作品により指揮デビュー。以後、現代作品を中心に、活発な指揮活動を行っている。これまでに、サントリー・サマーフェスティバル、サイトウ・キネン・フェスティバル 松本、プレソンス音楽祭(仏)、ミュージック・フロム・ジャパン(NY)、現代音楽アспект(仏カーン)等、国内外の音楽祭に招聘されている。日本音楽コンクール委員会特別賞、第18回中島健蔵音楽賞を受賞。

アンサンブル：東京シンフォニエッタ Tokyo Sinfonietta 1994-



©堀田力丸

東京シンフォニエッタは同時代の音楽の優れた演奏と、現在活動している作曲家達の創作と直接関わることを目的として設立された。以来、東京での定期公演や各種音楽祭への参加などを通して、国籍も美学も異なる現在活躍中の内外の作曲家の作品を演奏し紹介している。現代作曲家の、非常に高度な要求に応えるべく結成された室内オーケストラである。繊細かつ正確無比な現代の日本文化を音で表現するアンサンブルとして国内外で高い評価を得ている。2010年12月「第28回定期演奏会-湯浅譲二特集」で、サントリー芸術財団「佐治敬三賞」を受賞。

ジャン・ルイ・アゴベ

Jean-Louis Agobet 1960-



©D.R.

1968年フランス生まれの作曲家。1996年から98年にかけてヴィラメディチに給費留学生として滞在。2006年にはフランスの権威ある賞、「ヴィクトワール・ドゥラ ミュージッククラシック」を受賞。

90年代初頭より、彼の活動は急激に活発になり、現在約50を数えるその作品は、大編成のものであり、国際的に活躍している指揮者、ソリストのために書かれたものが大部分である。

フランス音楽著作権協会、イタリア、フランス芸術院ピエールカルダン、などをも受賞し、1998年から2000年にかけては国立モンプリエ管弦楽団、ついで2001年から2004年にかけてはストラスブルールフィルハーモニー管弦楽団のコンポーザー・インレジデンスとなる。

彼の作品は世界各地で演奏、録音され、ハンブルグとニューヨークのパールミュージッククラシカルより出版されている。

教育者であると同時に、講師として、2004年から2005年にかけてストラスブルールフィルハーモニー管弦楽団の教育プログラムを主導し、2009年に出版された音響的創造力育成のための教育的導入への試論、「聴いて、鳴らして、創って」の著者である。

www.jeanlouisagobet.com

バンジャマン・アタイル

Benjamin Attahir 1989-



1989年ツールーズ生まれ。

2010年にパリ国立高等音楽院の分析の修士取得、またジャンドゥロワイエ指揮カン管弦楽団のアップリッシュナートセッションに参加する四人の作曲家に選ばれた。SACEMなどのコンクールで優秀な成績を収める。現在パリ国立高等音楽院にてジェラルド・ペッソンに作曲、マルクー・アンドレ・ダルバヴィに管弦楽法、また、アミ・フラメにヴァイオリンを学ぶ他、パリ国立高等音楽院にて指揮法を学ぶ。

数多くの作品がパリ国立高等音楽院受賞者管弦楽団、マッシーオペラ、カン管弦楽団、フランス国立管弦楽団、東京シンフォニエッタ、ツールーズ室内管弦楽団等によって、IRCAM、シテ・ドゥラ ミュージックなどで演奏されている。

指揮者としても多くの初演に参加すると共に、パトリック・ヴィバル率いるフランスロマン派の作品を歴史的な楽器を使用して演奏する「アンサンブル エヌア」の副芸術監督を務めている。

2011年6月、ユネスコにてラジオフランスによる委嘱作品「ナザー」が演奏され、現在2013年9月・ルツェルン音楽祭の委嘱作品をP.ブーレーズの指導の下作曲中。

ソプラノ：
松井亜希
Soprano：
Aki Matsuiハーブ：
木村茉莉
Harp：
Mari Kimuraヴィオラ：
百武由紀
Viola：
Yuki Hyakutakeフルート：
斎藤和志
Flute：
Kazushi Saitoクラリネット：
西澤春代
Clarinet：
Haruyo Nishizawa

次回定期演奏会の予告

2012年10月13日(土)
14:00~

場所：東京文化会館小ホール

出演：板倉康明(指揮)、鈴木大介(ギター)、東京シンフォニエッタ
■西村朗特集
西村朗：「ラティ」2台のヴァイオリンのための／室内オーケストラの
ための「オルゴン」／ギター協奏曲(仮題) 他